

令和4年4月 発行：小牧市教育委員会

新学期が始まり、各学校では子どもたちの進級・クラス替えにあわせて、ソフトウェアの設定作業を進めています。

今回は、小学校・中学校の新1年生に向けて、タブレット活用のルールについてお知らせします。また、各学校でタブレットの持ち帰り回数が増えていますので、改めて取り扱いの注意点やオンライン学習の考え方などをお伝えします。



小牧市のICT教育が目指す姿

時代を切り拓く子ども
～ICTで伸ばすこどもの力～

1. 情報を収集する力
2. 情報を取捨選択し、読み解く力
3. 論理的・創造的に思考する力
4. 課題を発見・解決し、新たな価値を創造する力
5. よりよい社会や人生のあり方について考え、学んだことを生かそうとする力



新1年生 ～タブレット活用におけるルールを知って、安全・安心に使いましょう～

～新小学1年生の皆さんへ～

- タブレットは学校が一時的に貸し出す学習道具です。タブレットは卒業時には返却し、下級生が使っていきます。「借りている」ことを忘れず、**大事に使う**ようにしましょう。
- 各学校では、“学びの道具”としてタブレットを気持ちよく使うために、学校・家庭における活用ルールを定めていますので、まずはルールを確認しましょう。



タブレットの活用ルール（例）【抜粋】

①基本事項

- 学校生活に関係のないことで使わない。
- 授業中は先生に言われた時以外は使わない。

②情報モラル・犯罪被害防止

- 自分のID・パスワードなどを他人に教えない。
- 人が写る写真を撮るときは、必ず許可をとる。
- 自分や他人の個人情報をインターネット上に絶対に書き込まない。

③健康への配慮

- 明るい場所で、正しい姿勢で使い、目と画面の距離を30センチ以上離す。

～新中学1年生の皆さんへ～

- 小学校ではiPadを貸与していましたが、中学校では機種がWindows端末に変わります。使用するアプリも一部変わりますので、使用する際には先生の説明をよく聞いてください。
- 各種アプリのアカウント（IDとパスワード）も変わります。小学校のときと同じく、新しい自分のID・パスワードは絶対に他人に教えないでください。



タブレットの持ち帰り、臨時休校時のオンライン学習

～なぜ、家庭にタブレットを持ち帰る必要があるの？～

- 臨時休校等の非常時に活用できるようにするため（非常時における学びの保障）
- 学校生活や日常生活で、ICTを活用して、学びを広げたり、深い学びにつなげたりするため（ICTが広く利用されている社会で、子どもたちが豊かに生きていくため）

臨時休校時に、タブレットを活用したウェブ会議システム（Teams）を使ったオンライン学習を実施する場合があります。

（オンライン学習の内容や方法は、各学校が休校期間や対象学年に応じて決定）

※タブレットの操作方法やオンライン学習で使用するアプリの使用方法については学校で指導します。操作等に慣れるまでの間、お子さんがおうちで困っていたら、できる範囲でフォローをお願いします。

お願いします



～保護者の皆様に協力していただきたいこと～

- ①タブレットの充電
- ②家庭のインターネットへの接続
- ③タブレットの取り扱いや使用時間などについての見守り
- ④iPadOSのアップデート（可能であればお願いします）

休校中のオンライン学習の試行結果

3学期に、新型コロナウイルス感染症による臨時休校が発生した一部の学校で、ウェブ会議システム（Teams）を使ったオンライン学習を試行実施しました。

初めての試みだったため、こどもたちがオンライン学習に参加するための操作等に戸惑う様子が見られました。

また、急遽休校が決定した学校では、保護者の方への連絡が直前となったにもかかわらず、オンライン学習にご協力いただき、ありがとうございました。

今回の試行結果を生かし、今後、臨時休校等の非常時に備え、オンライン学習をスムーズに実施できるように段階的に取り組んでいきます

映像や音声途切れてしまう

課題の提出方法がわからない

オンライン学習の参加方法がわからない

画質が悪くて、見づらい



保護者アンケートの結果（令和4年2月実施）

パイオニア校（2小学校・2中学校）で実施した保護者アンケートの結果（一部）を紹介します。アンケート結果を踏まえ、学校でもタブレットのよりよい活用や情報モラルの指導などに取り組んでいきます。ご家庭でも、お子さんと一緒に「我が家のルール」を決めたり、情報を正しく安全に利用することの大切さについて話し合ったりするなど、ご協力をお願いします。

質問

回答

ご家庭で、情報もつかや、インターネットやSNSをはじめ、情報を正しく安全に利用することの大切さについて、お子さんに話したことがある

78.2%（小学校：74.4%、中学校：87.5%）

ご家庭で、タブレット、スマートフォンなどの利用時間など、守るべきルールを決めている

75.2%（小学校：76.7%、中学校：71.6%）

ICT教育で学校に期待する点

①わかりやすい授業、②理解力の向上、③学習心の向上

ICT教育について不安な点

①視力や姿勢など、身体への悪影響、②書く時間や量、内容等が減ること、③コミュニケーション力の欠如

よくあるご質問

Q こどもが不適切なサイトにアクセスしないか心配です

A 学校のタブレットは有害なサイトへのアクセスを制限するため、一定のフィルタリングを設定していますが、万全ではありません。ご家庭においても、お子さんが有害サイト等を閲覧しないようにご協力をお願いします。

Q タブレットの画面に、保護フィルムやブルーライトカットフィルムを貼ってもいいですか？

A はがしたときに跡が残らないものであれば、問題ありません。

Q **重要!** 持ち帰ってきたときに、タブレット等を故障・破損・紛失してしまったときは？

A 故障・破損・紛失があったときは、速やかに学校に連絡してください。また、家庭で修理等をしないでください。持ち帰り中の紛失、故意や過失による破損・故障は、保護者の方に状況等をお聞きしたうえで、費用負担をお願いすることがあります。

Q 自宅にWi-Fiがないので、祖父母の家のWi-Fiに接続してよいですか？

A タブレットは学習のための道具ですので、祖父母宅であっても、学習に使う場合、接続することは問題ありません。

KOMAKI♥ICT しんぶんのバックナンバー

令和3年度は4枚のICTしんぶんを発行しました。過去のICTしんぶんは小牧市ホームページに掲載しており、いつでもご覧いただけます。（→右記QRコードからもアクセスいただけます）

